

神奈川県立 精神医療センター NEWS

No.25
2023年9月発行

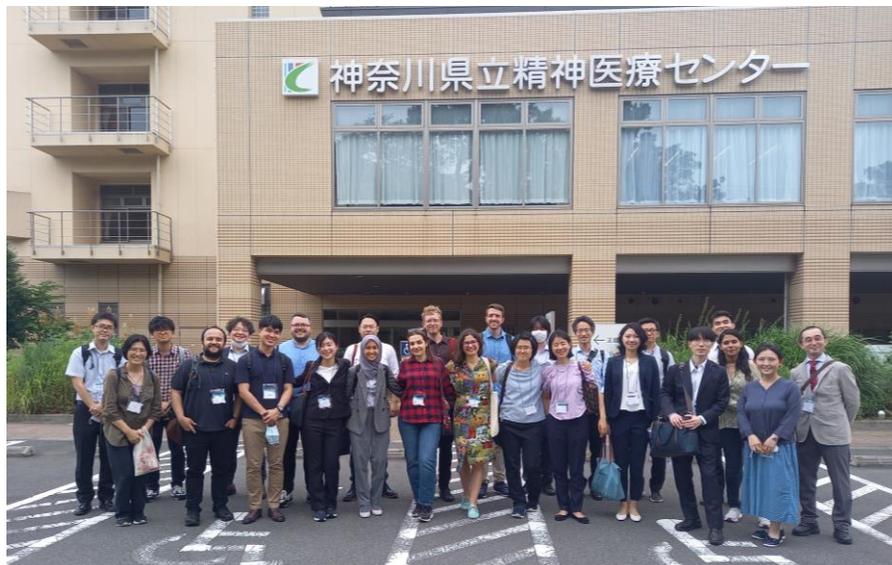


作 長谷川幹人

海外の若手精神科医（Fellowship Awardee）11人が 神奈川県立精神医療センターを見学しました！

日本精神神経学会（JSPN）は毎年、学術総会に海外の優秀な若手精神科医（Fellowship Awardee）を招聘し、国際シンポジウムや病院見学などを行っています。2023年の学術総会横浜大会では、地域を代表する病院として神奈川県立精神医療センターに病院見学の依頼があり、6月24日（土）当院の医師8人（小林副院長、青山、山崎、伊津野、内田、吉田、高野、田鎖、阿部）が中心となってFellowship Awardee 11名を案内することとなりました。

当日はインド、タイ、インドネシア、スウェーデン、ポーランド、イラン、台湾、トルコ、スペインの医師11人、JSPNの国際委員、日本若手精神科医の会（JYPO）の会員が参加し、講堂で昼食後ミニレクチャー、院内見学をしました。



【 2面へ続く 】

Contents

- 【1面続き】海外若手海外医師の見学詳細
- 【副院長兼看護局長の就任にあたって】
- 【イベントニュース：開催報告】高校生の1日看護体験！

★ 病院案内 ★

★ ミニレクチャー ★

当院医師らから各病棟の機能と現状を英語で紹介しました。慢性期病棟の平均在院日数の長さにより海外参加者から驚きの声が上がりましたが、また、依存症治療については依存物質の違いについて熱い議論がなされました。当院医師にとっても精神医療について英語で国際的な視点で議論する貴重な機会となりました。また、見学準備を通じ、各病棟の英語名が無いことに気づかされるなど、国際化に対応する上での課題にも気づくことが出来ました。

★ 院内見学 ★

各病棟・外来を2グループに分かれて見学しました。見学中でも議論が白熱し、予定時間をはるかに超えての見学となりました。参加者からは「日本の精神医療の素晴らしい例を見た」「一般、児童思春期、依存症、医療観察法など、幅広く見学できた」「とても近代的な病院で、熟練したスタッフ、優れたチームワーク、そして見学にあたった医師・スタッフの親切さ、もてなしの心が素晴らしかった」等、温かい感想を多数いただきました。



見学案内を終えて

見学のご案内を終えて、対応をした専攻医からは、

各国を代表する優秀な若手精神科医と聞いて、精神科医になったばかりの私は少し緊張しながら当日を迎えましたが、気さくで素敵な先生方とともに楽しい時間を過ごすことができました。インドやインドネシアの先生方と、外国籍の患者との距離感についてどこまで文化の違いに配慮すべきか悩んでいることを話したところ、文化の違いがある患者に対しても、日本で学んでいる原則に沿って診療すればよいと助言をいただきました。世界中の先輩方から刺激をもらい精神医学の面白さを感じました。



と感想があり、案内したスタッフにとっても国際的な視点で自身の臨床を振り返る貴重な機会になりました。

今回、案内した医師8人だけでなく、資料作りにご助言くださった医局の先生方、会場設営から英語での名札作成・病棟名掲示などご準備いただいた事務局の皆さん、忙しいなか見学者に対応してくださった病棟の皆さんなど、病院を挙げて協力していただいたことが病棟見学の成功につながりました。心より感謝申し上げます。

佐藤副院長兼看護局長の就任にあたって



令和5年4月より副院長兼看護局長を拝命しました佐藤です。私の精神科医療との出会いは、こども医療センターでのこころの診療病棟（児童・思春期精神科）でした。看護科長として、こどものこころの問題や精神科医療における制度等について学ぶ機会となりました。その後様々な経験を重ね、この度改めて精神科医療に向き合うこととなりました。

看護局のリーダーとして、多職種の方々と協働し、患者さんと共に可能性へチャレンジできるチームを目指していきたいと思います。

イベントニュース【開催報告】

高校生の1日看護体験！

2023かながわ看護フェスティバルの一環として、将来看護師を目指したい、看護師の仕事を知りたいという高校生を対象に「一日看護体験」を開催しました。

神奈川県内の高校生20名がユニフォームに着替えて、血圧測定やストレッチャーや車いすでの移動、心肺蘇生法を体験しました。また、当センターの看護師との懇談会を設け、実際に働く看護師から看護の仕事ややりがい、看護師を目指した理由、看護学生時代の話等をききました。

参加者の感想では、「普段体験できないことを体験できた。」「看護師さんと話す機会がありとてもよかった。」「看護の仕事に興味がわいた。」等、看護師の仕事や将来の自分の姿をイメージすることに繋がっていました。また、「丁寧にわかりやすく教えてくれて

楽しく体験できた。」「対応やお話がすごく優しくて良かった。」など、スタッフへのお褒めの言葉もいただきました。

今回の体験により、看護師を目指す仲間が増え、将来一緒に働ける日が来ることを願ってやみません。



センターニュースでは、みなさんのご意見を随時募集しています。

取り上げてほしいテーマや、ご要望等がある方は、下記メールアドレスまでご連絡ください。

神奈川県立精神医療センター 総務課 soumu.1517@kanagawa-pho.jp



地方独立行政法人神奈川県立病院機構
神奈川県立精神医療センター

〒233-0006 横浜市港南区芹が谷2-5-1
TEL 045-822-0241(代) FAX 045-822-0242
<https://seishin.kanagawa-pho.jp>